

<h1>第 358 回月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	記録
	企画運営委員長 保 科	企画運営委員 森

◎ 日 時：2023年7月21日（金）10時00分～16時45分（ブレイクアウトルーム12時～16時50分）

◎ 場 所：対面（きゅりあん）＋リモート開催（Zoom）

◎ 出席者：30名（会場：会員15名、オブザーバ1名、他2名 リモート：会員12名、他0名）

## 1. 開会挨拶・トピックス紹介、他

10：00～10：10 企画運営委員会

## 2. 自己紹介「月例会で聞きたいこと、話したいこと」

10：10～11：35 月例会参加者

・15名参加

## 3. 連絡「対面開催再開、他」

13：00～13：05 企画運営委員長 保科 修一 氏

## 4. 報告「規格に基づいて危険源・危険状態・危険事象論理的に考えよう」

13：05～14：10 個人会員 小原 雅宜 氏

### 概要

機械のリスクアセスメントは、ISO12100（JISB9700）に基づいて実施することが基本であるが、規格に規定されている。基本的な用語について中途半端な理解のまま実施されている。リスクアセスメントは初心者には難しいため、初心者だけで実施するのは危険。今一度原点に立ち返り正しく理解するために解説。

## 5. 報告「プレス機械の危険源とC規格での対応（保護方策）」

14：20～15：30 （株）機械安全実践技術 畑 幸男 氏

### 概要

日本及び欧米等においてプレス機械は、危険な機械として製造、使用に関して法規制がなされている。また、設計においては、日本及び欧米各国の強制規格に基づいて、2010年より国際規格の開発が進められてきた。そして、2017年から2019年にかけてプレス機械設計のためのタイプCの国際規格（ISO）が発行された。月例会では、日本、欧米でのプレス機械に関連する主要な法規制とタイプCの国際規格で示されている機械式プレス機械設計の安全要求事項の概要について報告。

## 6. 発表「町工場のOSHMS導入事例」

15:35~16:45 亜木津工業(株)

小島 一孫 氏

### 概要

創業以来、初めて発生した重大な労働災害をきっかけに、  
私たちは事業存続をかけ生まれ変わることを決意しました。  
これは、「安全で安心して働ける快適で健康的な職場環境」の  
構築に、150名の社員全員で取り組んだ記録。

## 7. 閉会挨拶・その他

- ・活発な意見交換が行われた。次回の対面開催は更に充実した会にします。
- ・3年半ぶりに懇親会が行われた。
- ・次回第359回月例会は、8月18日(金)13時00分~16時30分リモートで開催予定。

**月例会説明資料 : ホームページ内の会員専用ページにて掲載**

以上